

令和2年5月21日

白老町長 戸 田 安 彦 様

第6次白老町総合計画調査特別委員会

委員長 吉 谷 一 孝



第6次白老町総合計画調査特別委員会報告書

本委員会に付託されている第6次白老町総合計画（案）の調査について、その活動結果を次のとおり提出します。

記

1. 調査事項

第6次白老町総合計画（案）について

2. 調査の経緯及び日程

(1) 特別委員会の設置

令和2年2月18日

① 委員の構成

議長を除く全議員

② 特別委員会の開催

(第1回) 3月27日、(第2回) 4月10日

(第3回) 4月24日、(第4回) 5月15日

3. 調査に基づく報告

第5次白老町総合計画の期間が満了することにより策定が進められている第6次白老町総合計画について、町の要請により令和2年1月24日に全員協議会で計画素案の説明があった。

全員協議会では、町の政策執行の最高規範である総合計画について、議会としても案の段階で特別委員会を設置して調査すべきとの意見が出され、議会運営委員会を経て、定例会2月会議で特別委員会の設置となった。

のことから、本特別委員会は、第6次白老町総合計画（案）の内容等について精力的に調査を重ねてきた結果を意見として報告する。

#### 4 特別委員会の意見

第6次白老町総合計画（案）を調査した結果、主要な論点について下記のとおり意見をまとめた。

1点目は、基本構想と基本計画の位置づけについて、町は、将来像を目指すための想定できる全ての分野・施策を盛り込み、「まちづくりの羅針盤」、「まちづくりを行うための活動指針」、「まちづくりの意思を示す発信機能体」の役割を示したが、本特別委員会で出された意見は、「何をやるのか町民に対して分かりやすい計画であるべき」、「人口減少とともに変わっていく財政見通し、組織体制やサービスが不明確であり、財政状況を示す計画として大型事業とその財源確保の記述が必要である」などの意見が出されたが、計画に求める視点は町と一致しない部分があった。しかし、町民が理解できる希望の未来を目指す計画にするためには、町立病院改築等の大型事業や、観光入込み客数350万人等の重点目標などを基本構想や重点プロジェクトなどに記載するべきである。

2点目は、町から出された基本構想及び基本計画案についての調査は、おおむね完了したが、本特別委員会としては、今後策定される実施計画が現実問題としてより重要になると認識した。そのことから、早急に実施計画の内容を議会に説明する機会を設け、その際に、年度ごとの計画評価と進捗状況を明確にするべきである。

3点目は、今後、予測される少子高齢化と人口減少にあっても、第2期白老町まち・ひと・しごと創生総合戦略との連動やSDGsの取組推進など、町民生活が安全安心に保たれ、誰もが白老町に住んでよかったですと思えるまちづくりのため、過去の確かな検証と将来への確かな予測に取り組み、要因分析と効果検証に基づいた対策や支援を進めるべきである。

4点目は、町のさらなる発展を願い、町民及び議会と行政がしっかりと情報共有しながら、みんなが参加を促進し、協働のまちづくりによる将来像の実現につながる施策の推進を図るとともに、限られた行政資源の最適配分・有効活用に努める新たな財政計画と行政改革の早期決定、早期推進を図り、組織連携体制の確立と具体的な施策展開を促進すべきである。

最後に、総合計画の策定は、将来のまちづくりの議論であり、町民にとっての最重要課題である。総合計画は、白老町自治基本条例に規定する本町の政策執行に関する最高規範であり、総合計画に基づいてまちづくりを進めることにより、「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」に向かうことが期待できるため、総力を上げて着実に推進すべきである。

## 特別委員会の質疑、意見、修正提案事項

### 1 第1回特別委員会（総論、基本構想、基本計画重点プロジェクト）3月27日

委員名	内 容	経 過
氏家委員	(全)審議会でどのような意見が出ていたかを把握したうえで、議論を進めるため資料を提供してもらいたい。	回答済み (資料提供)
広地委員	(P29) 基本計画「地域経済活性化プロジェクト」の指標に「町内事業者数」や「製造品出荷額等」の指標を追加してはどうか。	回答済み (分野別計画で示す)
貳又委員	(P7)総論「まちを取り巻く状況」にSDGsの推進とあるが、この考え方は個別施策にまで反映されたものとなっているか。他市町の動向を見ながら取り組むのではなく、先駆的な独自の取り組みをしていくべきではないか。	回答済み (概念を踏まえ推進する。多文化共生のまちづくり)
小西委員	(P7)総論「まちを取り巻く状況」にSDGsの推進内の図が見づらいので工夫してほしい。	回答済み (修正する)
西田委員	(全)パブリックコメントの実施結果について、資料を提供してもらいたい。	回答済み (資料提供)
	(P7) SDGsについて、総論の記載した図のみでは分かりにくい。補足説明が必要である。	★修正する
大渕委員	(P2)総合計画がより多くの町民に読まれ、理解されるためには、今までの計画を踏襲するだけでは不十分ではないか。例えば、総論で「食育防災センター」や「ウポポイ」の記載があるが、「町立病院の改築」については記載がなく、 <b>第6次の計画期間で町が何をするか分からぬ</b> 。総論は概要が記載されるところではあるが具体的なことを記載するべきではないか。 (P17)人口については現状分析や将来目標が設定されているが、財政の状況は推計等がされていないため、 <b>人口とともに縮小しなければならない事業が見通せない計画</b> になっている。	回答済み (わかりやすい概要版を作成する。 ここは方向性であり、実施計画、財政計画で示す)

## 2 第2回特別委員会（基本計画分野別計画、計画の実現に向けて）4月10日

委員名	内 容	経 過
西田委員	(P86) 「4－1 産業連携・雇用」の成果指標「立地企業件数」は、「町内全体」の件数か、それとも「工業団地」の件数か。	回答済み (町内全体)
前田委員	(資料) 第1回策定委員会の要旨(P2)の中で、総合計画の策定方針に対し、学識経験者の意見として「人口減少・少子高齢化の背景をしつかり捉えた方針であり問題ない」と記載されているが、何を根拠としているのか。	回答済み (社人研とその方針)
前田委員	(資料) 総人口目標の積み上げ根拠に定住意向や完全移住者数はどう関係するのか。	回答済み (低位推計の対策分)
佐藤委員	(資料) 第5次総合計画の評価分析について結果があるが、分野ごとの結果と第6次で掲げた指標との比較はできないか。	回答済み (第5次に分野指標はない)
広地委員	(P38) 最近では民間団体と防災協定を締結する動きがみられるが、「1－2－2 地域防災力の向上」の文中に民間団体の活力を追記してはどうか。また、文中の共助の精神について考え方を聞きたい。	★修正する (民間との共助必要)
広地委員	(P40) ウポポイの開設は、救急業務だけではなく、消防業務にも影響する。特に、慰靈施設や博物館本体など、高層建築物の火災に対応した設備(はしご車)の導入なども考えられるのではないか。町としてもウポポイ火災に対応した資機材の見直しや人的な訓練等が必要になってくるのではないか。	回答済み (国で対応。町は計画的整備と人材育成を推進)
貳又委員	(P32) ★重点プロジェクト選定の考え方について、P25 説明文の中では重点的かつ分野横断的に推進するとあるが、P32 を見ると偏りがあるように見える。	回答済み (基本事業のみ抽出)
貳又委員	(P42) 環境美化・衛生の基本計画内に、SDGs の推進についての記載がないように見えるが、基本計画内でどのように推進していくのか。	回答済み (今後、理念を組み込む)
及川委員	(P38) 「1－2 防災・減災」の中の現状と課題で、防災マスター会の取り組みを明記しているが、基本事業「1－2－2 地域防災力の向上」の中では明記していない。この点について追記することはできないのか。	★修正する
西田委員	(P82) 「3－6 人権」の成果指標について、目標値を35%と掲げているが、人口減少社会において女性の社会進出は大変重要であり、世界的には50%と掲げられているため、目標値を50%にしてはどうか。	☆検討する
佐藤委員	(P87) 「関係人口」について、資料編の中で用語解説されているが、おためし暮らしなど例示をまじえ、分かりやすく解説してはどうか。	★修正する

前田委員	(P94) 「4－5 農林業」「4－6 水産業」の成果指標について、一方では「従事者数」を掲げ、もう一方では「就業者数」を掲げているため整合性が図られていない。是正すべきである。	☆検討する
前田委員	(P90) 「4－3 商工業」の成果指標「製造品出荷額」について、目標値は現状値より増加しているが、道や国全体の見通しと整合性は図られているのか。また、「製造品出荷額」は町民一人あたりの所得額とも関連する値であるが、整合性は図られているのか。	◆精査する
西田委員	(P90) 「4－3 商工業」の中に製造業の記述がない。製造業は本町の基幹産業であるため、追記していただきたい。	☆検討する
大渕委員	(全) 基本計画をすべて読み、理解するのは難しい。町が今後8年間で何を目玉とするのかを基本方針の中で明示するなど、町民のわかりやすい具体的な計画の項目が必要である。	回答済み (実施計画で打ち出す)
前田委員	(P107) 総合計画の実効性を高めるためには、 <b>行政改革大綱と財政健全化プランとの一体的な運用が重要</b> であると考えるが、具体的にはどう流れていくのか。	回答済み (横連携プロジェクトで財政計画を担保する)
前田委員	(P107) 次期財政健全化プランの策定に向けた工程を明確に示してほしい。	◇提示する
貳又委員	(P106) 国では総合戦略において、政策間連携（移住・子育て等）、P D C A サイクルの運用、地域が取り組むべき施策（創生交付金事業）について示しているが、第6次総合計画ではどのように整理されているか。	回答済み (総合戦略のKPIの妥当性について評価・検証)
長谷川委員	(全) S D G s の 1 7 の目標を教育や福祉も含めた各種施策にリンクさせることはできないのか。	回答済み (要素を反映する)
西田委員	(P130) 用語解説の解説文中にも解説が必要な単語（カタカナ語）が散見されることから、解説文を見直してもらいたい。 ※レセプト、ドアツードア（アクセス）、地域情報化	★修正する
大渕委員	(全) <b>人口減少</b> が進む中、総合計画の実効性を高めるためには、財政面だけでなく、福祉や文化・スポーツなど、役場以外のまちの組織のあり方についても検討が必要である。	回答済み (行革大綱と財政計画を踏まえ推進する)

3 第3回特別委員会（回答及び全体意見）4月24日

委員名	内 容	経 過
前田委員	資料1の6について、高齢化や生産年齢人口減の中で、出荷額が増えても所得が上がるのか。予想の分析精度はあるのか。	出荷額が増える想定であるが人口構造上所得が上がるのは難しいが期待値はある
前田委員	資料1の8について、財政プランの工程を明確にして、計画との整合性を図っていただきたい。	実施計画とその進行管理で行う。 財政計画と改革大綱をすり合わせて勘案し実施計画との整合を図る
貳又委員	重点プロジェクトの基本事業に選定の偏りがある。見直しを求めたが回答済みとなっている。	人口減少抑制と活性化促進に対応する事業を検討したもの。
西田委員	病院は活性化にも人口抑制にも重要な施設である。なぜ重点プロジェクトにならないのか。 これらの意見を正副委員長案に盛り込んでいただきたい。	病院については様々な検討で進めることとしており過小評価していない。
大渕委員	町民に寄り添った計画にならないか。大型事業を明確にする計画にして財政対応していく。概要版に入るなら本編でもよいのではないか。	意図は十分に受け止めるが作り直することはできない。
松田議長	第6次計画は第5次計画の続きでしかない。インフラ整備から縮小へ。目玉は何か。計画に載らない事業はどうするのか。事業を進める病院も明確でない計画とは。人口は減るがどのようなまちをつくっていくのか分かる計画をつくることが必要。	趣旨を大事にして計画を進めていきたい。特別委員会の意見に対応していく。